

地震防災教育 家庭の備えから

防災・減災

発行所：はやぶさ地防会
 編集者：代表者 高橋 賢一
 連絡先：市民活動支援センター
 尾張旭市渋川町三丁目5番地7
 (渋川福祉センター内)
 TEL 0561-51-2878
 FAX 0561-51-2879

平成24年度
 尾張旭市総合
 防災訓練に
 参加。

平成二十四年八月二十六日(日)
 午前七時より九時迄
 本地多原小学校々庭で
 実施された。
 従来の防災訓練とは違て
 フラインド訓練として初めか
 ら決めて形式通りの動作で
 なく、本番に似た訓練を行
 った。非常時に迫力があった
 防災訓練も実践さながら
 なものであり、おそろいな活動
 は毎年必要にはなるとる。



▲消防救急隊が
 人命救助の為
 地震による、家屋
 が倒壊した場面
 を想定して
 訓練を行っている。

マンションほかか
 は煙による二酸化
 酸素で死に至る
 ことがありビウ
 脱出するかの
 訓練です。



▲朝倉早
 命
 マシン前
 に集合
 これから訓
 練に向う
 住民。

今回の訓練は地元消防署、
 周辺一部消防隊、守山警察隊
 守山自衛隊と三隊が連携して
 防災訓練に参加規模の大きな訓
 練にはなりましたが、これに医療チームが
 加わりと一層の訓練が完成され
 りました。

あと訓練にあたり、いろいろブースも
 設けられました。
 ここは盛り上がり期待出来ず、
 各部所での公前授業に展開し
 ければ効果期待出来るのでは
 ないかと思ふ。

はやぶさ地防会も、大撮影や
 室内での飲食物、箱詰めを手伝
 しました。

中学生の防災訓練に
 参加はすばらしいことで、学校
 側も連携訓練の一環として
 中学生の地震に関する参

加はりに推進するべきだと思ふ。

